

施 工 体 制 台 帳 提 出 書 類

施工体制台帳及び施工体系図の作成等（建設業法第24条の7）

※原則 特定建設業者は、発注者から直接請負元請となり、

下請契約総額が3,000万円（建築一式工事は4,500万円）以上を下請に発注する時は

下請、孫請等その工事に関わる全ての会社名・それぞれの工事内容、工期などを

書いた施工体制台帳を作成し、工事現場毎に備え置かなければならない。

NO	書 類 名	提出日
1	施工体制台帳作成建設工事通知	
2	施工体制台帳	
3	建設業法、雇用改善法等に基づく届出書(変更届)・(再下請負関係)	工事着工5日前まで
4	工事作業所災害防止協議会兼施工体系図	〃
5	工事担当技術者台帳	〃
6	下請負業者編成表	〃

※添付書類

1 注文書・請書写し(二次以下も含む)

3 その他(契約書写し・監理技術者資格証写し等)

平成 20 年 10 月 20 日

下請け業者の皆さんへ

現場に掲示する事

当社作成

【元請負業者】

会社名 西武造園株式会社

事業所名 石川公園作業所

施工体制台帳作成建設工事の通知

当工事は、建設業法（昭和24年法律第100号）第24条の7に基づく施工体制台帳の作成を要する建設工事です。この建設工事に従事するした請負業者の方は、一次、二次等の層次を問わず、その請け負った建設工事を他の建設業を営む者（建設業の許可を受けていない者を含みます。）に請け負わせたときは、速やかに次の手続きを実施してください。

なお一度提出いただいた事項や書類に変更が生じたときも、遅滞なく、変更の年月日を付記して再提出しなければなりません。

①再下請負通知書の提出

建設業法第24条の7第2項の規定により、遅滞なく、建設業法施行規則（昭和24年建設省令第14号）第14条の4に規定する再下請負通知書により、自社の建設業登録や主任技術者等の選任状況及び再下請負契約がある場合はその状況を、直近上位の注文者を通じて元請負業者に報告されるようお願いいたします。

一次下請負業者の方は、後次の下請負業者から提出される再下請負通知をとりまとめ、下請負業者編成表とともに提出してください。

②再下請負業者に対する通知

他に下請負を行わせる場合は、この書面を複写し交付して、「もしさらに他の者に工事を請け負わせたときは、『再下請負通知書』を提出するとともに、関係する後次の下請負業者に対してこの書面の写しの交付が必要である」旨を伝えなければなりません。

なお、当工事の概要は次の通りですが、不明の点は下記の担当者に照会ください。

元請名	西武造園株式会社		
発注者名	国土交通省 昭和記念公園事務所		
工事名	石川公園造成工事		
監督員名	荒井 信次	権限 及び 意見申出方法	文書による
提出先及び 担当者	石川公園作業所 金子 勤		

施工体制台帳

平成 20 年 11 月 1 日

現場着工の5日程

[会社名] _____
[事業所名] _____

建設業の許可	許可業種	許可番号	許可(更新)年月日
	土木、建築、とび・土工、石、電気舗装、造園、水道施設 工事業	国土交通大臣 (特-18) 第 9692 号	平成19年 1 月 17 日
	工事業 (特-) 第 号		平成 年 月 日

工事名称及び工事内容	石川公園造成工事 敷地造成工、修景施設工、植栽工 他		
発注者名及び住所	国土交通省 昭和記念公園事務所 東京都立川市立川1 3-2-6		
工期	自 平成20年 10 月 1 日 至 平成21年 3 月 31 日	契約日	平成20年 9 月 30 日

契約	区分	名称	住所
	元請契約	西武造園株式会社	東京都豊島区南池袋1-16-15
	下請契約	西武造園株式会社 東日本支店	埼玉県所沢市小手指2-6-4

発注者の監督員名	荒井 信次	権限及び意見申出方法	文書による
----------	-------	------------	-------

監督員名	金子 勤	権限及び意見申出方法	工事請負契約書記載の通り文章による
現場代理人名	金子 勤	権限及び意見申出方法	〃
監理技術者名	佐藤 明	資格内容	1級造園施工管理技士
専門技術者名	資格内容	専門技術者名	
	担当工事内容	資格内容	

(記入要領)

- この様式は元請が作成し、一次下請負業者を通じて報告される再下請負通知書(様式第1号-甲)を添付することにより、一次下請負業者別の施工体制台帳として利用する。
- 上記の記載事項が発注者との請負契約書や下請負契約書に記載ある場合は、その写しを添付することにより記載を省略することができる。
- 監理技術者の配属状況について「専任・非専任」のいずれかに○印を付けること。
- 専門技術者には、土木・建築一式工事を施工する場合等でその工事に含まれる専門工事を施工するために必要な主任技術者を記載する。
(監理技術者が専門技術者としての資格を有する場合は専門技術者を兼ねることができる。)
- 監理技術者及び専門技術者について次のものを添付すること。
①資格を証するものの写し ②自社従業員である証明書類の写し(従業員証、健康保険証など)

《下請負人に関する事項》

会社名	阿部土木 株式会社	代表者名	阿部 一郎
住所 電話番号	〒 123-0045 東京都立川市国分寺6-2-3 (TEL 042-536-2346)		
工事名称及び工事内容	石川公園造成工事 敷地造成工		
工期	自 平成20年 11 月 15 日 至 平成20年 12 月 25 日	契約日	平成 20 年 11 月 10 日

注文書確認(実働工期)

建設業の許可	施工に必要な許可業種	許可番号	許可(更新)年月日
	土木 工事業	大臣 特定 知事 一般 18 第 65432 号	18 年 10 月 30 日
	工事業	大臣 特定 知事 一般 第 号	年 月 日

建設業許可を確認

現場代理人名	山田 太郎
権限及び意見申出方法	口頭による
※主任技術者名	専任 鈴木 一郎 非専任
資格内容	5年以上の実務経験

現場代理人・主任技術者は兼務する事が出来る

安全衛生責任者名	現場に常駐する責任者 山田 太郎
安全衛生推進者名	本社又は支店の 江田 光
雇用管理責任者名	本社又は支店の 阿部 一郎
※専門技術者名	本社又は支店の 人事・総務担当責
資格内容	
担当工事内容	

添付書類
・西武造園 ⇄ 阿部土木
注文書・請書写しを添付する
・阿部土木

※ [主任技術者、専門技術者の記入要領]

- 主任技術者の配属状況について [専任・非専任の] いずれかに○印を付すこと。
- 専門技術者には、土木・建築一式工事を施工する場合等でその工事に含まれる専門工事を施工するために必要な主任技術者を記載する。(一式工事の主任技術者が専門工事の主任技術者としての資格を有する場合は専門技術者を兼ねることができる。)
複数の専門工事を施工するために複数の専門技術者を要する場合は適宜欄を設けて全員を記載する。
- 主任技術者の資格内容(該当するものを選んで記入する。)
①経験年数による場合
1) 大学卒 [指定学科] 3年以上の実務経験
2) 高校卒 [指定学科] 5年以上の実務経験
3) その他 10年以上の実務経験
②資格等による場合
1) 建設業法 「技術検定」
2) 建築士法 「建築士試験」
3) 技術士法 「技術士試験」
4) 電気工事士法 「電気工事士試験」
5) 電気事業法 「電気主任技術者国家試験等」
6) 消防法 「消防設備士試験」
7) 職業能力開発促進法 「技能検定」

発注者契約書と確認す

現場代理人もしくは上職

元請 確認欄	○
-----------	---

平成 20 年 10 月 30 日

元請提出日以前

建設業法・雇用改善法等に基づく届出書 (変更届)

(再下請負通知書様式)

直近上位の
注文者 西武造園株式会社

現場代理人名
(所長名) 金子 勤 殿

【報告下請負業者】

〒 123-0045
住 所 東京都立川市国分寺6-2-3

TEL 042 - 536 - 2346
FAX - -

会社名 阿部造園土木株式会社

代表者名 阿部 一郎 印

元請名称 西武造園株式会社

《自社に関する事項》

工事名称 及び 工事内容	石川町公園造成工事 敷地造成工	担当工事内
工 期	自 平成 20 年 11 月 15 日 至 平成 20 年 12 月 25 日	注文者との 契約日 平成 20 年 11 月 10 日

注文書を確認(実働工期)

建設業の 許 可	施工に必要な許可業種	土 木	許 可 番 号	大臣 特定 18 第 65432 号	許可(更新)年月日	平成18年 11 月 10 日
		工事業	大臣 特定 第 号	知事 一般	年 月 日	

建設業許可と確認

監督員名	※ 山田 太郎	安全衛生責任者名	山田 太郎
権限及び 意見申出方法	口頭による	安全衛生推進者名	江田 光
現場代理人名	山田 太郎	雇用管理責任者名	阿部 一郎
権限及び 意見申出方法		専門技術者名	
主任技術者名	鈴木 一郎	資格内容	
資格内容	5年以上の実務経験	担当工事内容	

(記入要領)

- 1 報告下請負業者は直近上位の注文書に提出すること。
- 2 再下請契約がある場合は《再請負下請関係》欄(当用紙の右部分)を記入するとともに、次の契約書類の写しを提出する。なお再下請が複数ある場合は、《再下請負契約関係》欄をコピーして使用する。
①契約書、注文書・請書等 ②下請基本契約書
- 3 一次下請負業者は、二次下請負業者以下の業者から提出された書類とともに1-乙に準じた請負業者編成表を作成の上、元請に届け出ること。
- 4 この届出事項に変更があった場合は直ちに再提出すること。

現場代理人・主任技術者は兼務する事が出来る

《再下請負関係》 再下請負業者及び再下請負契約関係について次のとおり報告いたします。

会社名	渡辺重機株式会社	代表者名	
住 所	〒 234-0056 東京都府中市是正10-5-3	(TEL 042-345-6789)	
住所 電話番号			
工事名称 及び 工事内容	石川町公園整備工事 重機工事	工事担当内容	
工 期	自 平成 20 年 11 月 20 日 至 平成 20 年 12 月 10 日	契約日	平成 20 年 11 月 15 日

1次・2次間の注文書確認(実働工期)

建設業の 許 可	施工に必要な許可業種	土 木	許 可 番 号	大臣 特定 17 第 12345 号	許可(更新)年月日	17 年 2 月 28 日
		工事業	大臣 特定 第 号	知事 一般	年 月 日	

建設業許可を確認

現場代理人名	小川 太郎
権限及び 意見申出方法	口頭による
※主任技術者名	専任 山田 雄三 非専任
資格内容	1級土木施工管理技士

安全衛生責任者名	現場に常駐する 小川 太郎
安全衛生推進者名	本社又は支店の 高橋 太郎
雇用管理責任者名	本社又は支店の 人事・総務担当 渡辺 昭
※専門技術者名	
資格内容	
担当工事内容	

※ [主任技術者、専門技術者の記入要領]

- 1 主任技術者の配属状況について [専任・非専任の] いずれかに○印を付すこと。
- 2 専門技術者には、土木・建築一式工事を施工する場合等でその工事に含まれる専門工事を施工するために必要な主任技術者を記載する。(一式工事の主任技術者が専門工事の主任技術者としての資格を有する場合は専門技術者を兼ねることができる。)
複数の専門工事を施工するために複数の専門技術者を要する場合は適宜欄を設けて全員を記載する。
- 3 主任技術者の資格内容 (該当するものを選んで記入する。)
①経験年数による場合
1) 大学卒 [指定学科] 3年以上の実務経験
2) 高校卒 [指定学科] 5年以上の実務経験
3) その他 10年以上の実務経験
②資格等による場合
1) 建設業法 「技術検定」
2) 建築士法 「建築士試験」
3) 技術士法 「技術士試験」
4) 電気工事士法 「電気工事士試験」
5) 電気事業法 「電気主任技術者国家試験等」
6) 消防法 「消防設備士試験」
7) 職業能力開発促進法 「技能検定」

添付書類

- ・阿部土木 ⇄ 渡辺重機
注文書・請書写しを添付する
- ・渡辺重機
建設業許可証写しを添付する

現場代理人・主任技術者は兼務する事が出来る

現場代理人
もしくは上職

建設業法・雇用改善法等に基づく届出書(変更届)

(再下請負通知書様式)

直近上位の
注文者 阿部造園土木株式会社

現場代理人名
(所長名) 山田 太郎 殿

【報告下請負業者】

〒 234-0056
住 所 東京都府中市是正10-5-3

TEL 042 - 345 - 6789
FAX - - -

会社名 渡辺重機株式会社

元請名称 **西武造園株式会社**

《自社に関する事項》

代表者名 渡辺 昭 印

工事名称及び 工事内容	石川町公園造成工事 重機工事			担当工事内
工 期	自 平成 20 年 11 月 20 日	注文者と の契約日	平成 20 年 11 月 15 日	
	至 平成 20 年 12 月 10 日			

1次・2次間の注文書確認(実働工期)

建設業の 許 可	施工に必要な許可業種	許 可 番 号	許可(更新)年月日
	土木	大臣 特定 17 第 12345 号	平成17 年 2 月 28 日
	工業業	知事 一般	
	工業業	大臣 特定 第 号	年 月 日
	工業業	知事 一般	

監督員名	小川 太郎	安全衛生責任者名	現場に常駐する責 小川 太郎
権限及び 意見申出方法	口頭による	安全衛生推進者名	本社又は支店の安 高橋 太郎
現場代理人名	小川 太郎	雇用管理責任者名	渡辺 昭
権限及び 意見申出方法	口頭による	専門技術者名	本社又は支店の人 事・総務担当責任
主任技術者名	山田 雄三	資格内容	
資格内容		担当工事内容	

- (記入要領)
- 報告下請負業者は直近上位の注文書に提出すること。
 - 再下請契約がある場合は《再請負下請関係》欄(当用紙の右部分)を記入するとともに、次の契約書類の写しを提出する。なお再下請が複数ある場合は、《再下請負契約関係》欄をコピーして使用する。
①契約書、注文書・請書等 ②下請基本契約書
 - 一次下請負業者は、二次下請負業者以下の業者から提出された書類とともに1-乙に準じた請負業者編成表を作成の上、元請に届け出ること。
 - この届出事項に変更があった場合は直ちに再提出すること。

現場代理人・主任技術者は兼務する事が出来る

元請提出日以前

元 請
確認欄

《再下請負関係》再下請負業者及び再下請負契約関係について次のとおり報告いたします。

会社名				代表者名				
住 所	〒							
電話番号	(TEL)							
工事名称 及 び 工事内容								
工 期	自	年	月	日	契 約 日	年	月	日
	至	年	月	日				

建設業の 許 可	施工に必要な許可業種	許 可 番 号	許可(更新)年月日
	工業業	大臣 特定 第 号	年 月 日
	工業業	知事 一般	
	工業業	大臣 特定 第 号	年 月 日
	工業業	知事 一般	

現場代理人名		
権限及び 意見申出方法		
※主任技術者名	専 任 非専任	
資格内容		

安全衛生責任者名		
安全衛生推進者名		
雇用管理責任者名		
※専門技術者名		
資格内容		
担当工事内容		

- ※ [主任技術者、専門技術者の記入要領]
- 主任技術者の配属状況について [専任・非専任の] いずれかに○印を付すこと。
 - 専門技術者には、土木・建築一式工事を施工する場合等でその工事に含まれる専門工事を施工するために必要な主任技術者を記載する。(一式工事の主任技術者が専門工事の主任技術者としての資格を有する場合は専門技術者を兼ねることができる。)
複数の専門工事を施工するために複数の専門技術者を要する場合は適宜欄を設けて全員を記載する。
 - 主任技術者の資格内容 (該当するものを選んで記入する。)
- ①経験年数による場合
- 1) 大学卒 [指定学科] 3年以上の実務経験
 - 2) 高校卒 [指定学科] 5年以上の実務経験
 - 3) その他 10年以上の実務経験
- ②資格等による場合
- 1) 建設業法 「技術検定」
 - 2) 建築士法 「建築士試験」
 - 3) 技術士法 「技術士試験」
 - 4) 電気工事士法 「電気工事士試験」
 - 5) 電気事業法 「電気主任技術者国家試験等」
 - 6) 消防法 「消防設備士試験」
 - 7) 職業能力開発促進法 「技能検定」

工事作業所災害防止協議会兼施工体系図

平成20年11月20日 制定

発注者名	国土交通省 昭和記念公園事務所
工事名称	石川公園造成工事

工期	自	平成20年10月1日
	至	平成21年3月31日

現場事務所及び現場に掲示する事

元請負	西武造園株式会社
監督員名	金子 勤
監理技術者名	佐藤 明
専門技術者名	
担当工事内容	
専門技術者名	
担当工事内容	

元方安全衛生管理者
元請・下請合せて、常時50人以上の労働者が混在する工事現場の場合のみ記載する事

会長	統括安全衛生責任者
	金子 勤
副会長	佐藤 明

元方安全衛生管理者	田沼 三郎
書記	斉藤 隆

敷地造成	会社名	① 阿部土木(株)	会社名	② 渡辺重機(株)	会社名		会社名		会社名		
	安全衛生責任者	山田 太郎	安全衛生責任者	小川 太郎	安全衛生責任者		安全衛生責任者		安全衛生責任者		
	主任技術者	鈴木 一郎	主任技術者	小川 太郎	主任技術者		主任技術者		主任技術者		
	専門技術者		専門技術者		専門技術者		専門技術者		専門技術者		
	工事	担当工事内容	工事	担当工事内容	工事	担当工事内容	工事	担当工事内容	工事	担当工事内容	
工期	H20年11月15日～H20年12月25日		工期	H20年11月20日～H20年12月10日		工期	年 月 日～ 年 月		工期	年 月 日～ 年 月	
会社名	会社名		会社名		会社名		会社名		会社名		
	安全衛生責任者		安全衛生責任者		安全衛生責任者		安全衛生責任者		安全衛生責任者		
	主任技術者		主任技術者		主任技術者		主任技術者		主任技術者		
	専門技術者		専門技術者		専門技術者		専門技術者		専門技術者		
	工事	担当工事内容	工事	担当工事内容	工事	担当工事内容	工事	担当工事内容	工事	担当工事内容	
工期	年 月 日～ 年 月		工期	年 月 日～ 年 月		工期	年 月 日～ 年 月		工期	年 月 日～ 年 月	
会社名	会社名		会社名		会社名		会社名		会社名		
	安全衛生責任者		安全衛生責任者		安全衛生責任者		安全衛生責任者		安全衛生責任者		
	主任技術者		主任技術者		主任技術者		主任技術者		主任技術者		
	専門技術者		専門技術者		専門技術者		専門技術者		専門技術者		
	工事	担当工事内容	工事	担当工事内容	工事	担当工事内容	工事	担当工事内容	工事	担当工事内容	
工期	年 月 日～ 年 月		工期	年 月 日～ 年 月		工期	年 月 日～ 年 月		工期	年 月 日～ 年 月	
会社名	会社名		会社名		会社名		会社名		会社名		
	安全衛生責任者		安全衛生責任者		安全衛生責任者		安全衛生責任者		安全衛生責任者		
	主任技術者		主任技術者		主任技術者		主任技術者		主任技術者		
	専門技術者		専門技術者		専門技術者		専門技術者		専門技術者		
	工事	担当工事内容	工事	担当工事内容	工事	担当工事内容	工事	担当工事内容	工事	担当工事内容	
工期	年 月 日～ 年 月		工期	年 月 日～ 年 月		工期	年 月 日～ 年 月		工期	年 月 日～ 年 月	
会社名	会社名		会社名		会社名		会社名		会社名		
	安全衛生責任者		安全衛生責任者		安全衛生責任者		安全衛生責任者		安全衛生責任者		
	主任技術者		主任技術者		主任技術者		主任技術者		主任技術者		
	専門技術者		専門技術者		専門技術者		専門技術者		専門技術者		
	工事	担当工事内容	工事	担当工事内容	工事	担当工事内容	工事	担当工事内容	工事	担当工事内容	
工期	年 月 日～ 年 月		工期	年 月 日～ 年 月		工期	年 月 日～ 年 月		工期	年 月 日～ 年 月	
会社名	会社名		会社名		会社名		会社名		会社名		
	安全衛生責任者		安全衛生責任者		安全衛生責任者		安全衛生責任者		安全衛生責任者		
	主任技術者		主任技術者		主任技術者		主任技術者		主任技術者		
	専門技術者		専門技術者		専門技術者		専門技術者		専門技術者		
	工事	担当工事内容	工事	担当工事内容	工事	担当工事内容	工事	担当工事内容	工事	担当工事内容	
工期	年 月 日～ 年 月		工期	年 月 日～ 年 月		工期	年 月 日～ 年 月		工期	年 月 日～ 年 月	

(注)一次下請負人となる警備会社については、商号又は名称、現場責任者名、工期を記入する。

・当該工事の下請体制を全て記載する
 ・原則3次下請迄とする
 ・会社名前に1次・2次・3次を明示する
 ・変更が生じた場合は速やかに提出
 (変更箇所を赤枠にて明示する)

石川公園造成工事 担当技術者台帳

現場事務所に掲示する

元請会社名	西武造園 (株)
監理技術者名	佐藤 明
【写真貼付欄】	

会社名	①阿部土木(株)
主任技術者	池袋 二郎
専任・ <u>非専任</u>	
【写真貼付欄】	

会社名	②渡辺重機(株)
主任技術者	北島 三郎
専任・ <u>非専任</u>	
【写真貼付欄】	

会社名	
主任技術者	
専任・非専任	
【写真貼付欄】	

会社名	
主任技術者	
専任・非専任	
【写真貼付欄】	

会社名	
主任技術者	
専任・非専任	
【写真貼付欄】	

1次・2次・3次下請を明示する
施工体制台帳に準じて
写真を貼る

会社名	
主任技術者	
専任・非専任	
【写真貼付欄】	

会社名	
主任技術者	
専任・非専任	
【写真貼付欄】	

会社名	
主任技術者	
専任・非専任	
【写真貼付欄】	

会社名	
主任技術者	
専任・非専任	
【写真貼付欄】	

会社名	
主任技術者	
専任・非専任	
【写真貼付欄】	

会社名	
主任技術者	
専任・非専任	
【写真貼付欄】	

会社名	
主任技術者	
専任・非専任	
【写真貼付欄】	

会社名	
主任技術者	
専任・非専任	
【写真貼付欄】	

会社名	
主任技術者	
専任・非専任	
【写真貼付欄】	

会社名	
主任技術者	
専任・非専任	
【写真貼付欄】	

会社名	
主任技術者	
専任・非専任	
【写真貼付欄】	

会社名	
主任技術者	
専任・非専任	
【写真貼付欄】	

会社名	
主任技術者	
専任・非専任	
【写真貼付欄】	

会社名	
主任技術者	
専任・非専任	
【写真貼付欄】	

会社名	
主任技術者	
専任・非専任	
【写真貼付欄】	

元請 確認欄	○
-----------	---

平成 20 年 10 月 30 日

下請負業者編成表

(一次下請負業者＝作成下請負業者)

敷地造成	会社名	阿部土木(株)
	安全衛生責任者	山田太郎
	主任技術者	鈴木 一郎
	専門技術者	
工事	担当工事内容	
	工期	20年11月15～20年12月25日

追加記入

(二次下請負業者)

工事	会社名	
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	専門技術者	
担当工事内容		
工期	年 月 日～ 年 月	

(二次下請負業者)

工事	会社名	渡辺重機(株)
	安全衛生責任者	小川 太郎
	主任技術者	山田 雄三
	専門技術者	
担当工事内容		
工期	20年11月20日～20年12月15日	

(二次下請負業者)

工事	会社名	
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	専門技術者	
担当工事内容		
工期	年 月 日～ 年 月	

(三次下請負業者)

工事	会社名	
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	専門技術者	
担当工事内容		
工期	年 月 日～ 年 月	

(三次下請負業者)

工事	会社名	
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	専門技術者	
担当工事内容		
工期	年 月 日～ 年 月	

(三次下請負業者)

工事	会社名	
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	専門技術者	
担当工事内容		
工期	年 月 日～ 年 月	

(次下請負業者)

工事	会社名	
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	専門技術者	
担当工事内容		
工期	年 月 日～ 年 月	

(次下請負業者)

工事	会社名	
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	専門技術者	
担当工事内容		
工期	年 月 日～ 年 月	

(次下請負業者)

工事	会社名	
	安全衛生責任者	
	主任技術者	
	専門技術者	
担当工事内容		
工期	年 月 日～ 年 月	

(記入要領) 1 一次下請負業者は、二次下請負業者以下の業者から提出された「届出書」(様式1号-甲)に基づいて本表を作成の上、元請に届け出ること。

2 この下請負業者編成表でまとめきれない場合には、本様式をコピーするなどして適宜使用すること。

3 原則2次下請迄とする。

平成20年11月20日 制定
 平成22年11月01日 改訂
 平成23年06月01日 改訂

安全提出書類 目次

必須書類			必要に応じて提出する書類		
提出書類の名称	受理年月日	提出時期	提出書類の名称	受理年月日	提出時期
1.安全衛生管理実行誓約書(付録含む)	年 月 日	工事着工の5日前までに	11.持込機械等(移動式クレーン・車両系建設機械)等使用届	年 月 日	持込の5日前までに
2.安全衛生責任者選任報告	年 月 日		12.小型移動式クレーン作業打合表	年 月 日	使用の前日までに
3.雇入通知書・労働契約書等備付誓約書	年 月 日		13.車両系建設機械打合表	年 月 日	
4.不法就労外国人等を雇用しない誓約書	年 月 日		14.持込機械等(電動工具・電気溶接機)等使用届	年 月 日	持込の5日前までに
5.安全帯使用の誓約書	年 月 日		15.年少者・高齢者就労届	年 月 日	工事着工の5日前までに
6.作業員名簿	年 月 日		16.工事用車両届・運行経路図	年 月 日	
7.自己申告書	年 月 日		17.危険物・有害物持込使用届	年 月 日	使用の前日までに
8.送り出し教育実施報告書	年 月 日		18.火気使用願	年 月 日	
9.安全衛生作業打合簿・作業指示書	年 月 日		19.安全衛生月間計画表 当社作成	年 月 日	
10.安全ミーティング・危険予知活動報告書	年 月 日		20.安全衛生管理計画書	年 月 日	工事着工の5日前までに
			21.事業所安全衛生管理計画書	年 月 日	
			22.事業主パトロール点検表	年 月 日	施工期間中月1回
			23.事業主パトロールチェックリスト	年 月 日	
			24.事業主パトロール確認欄	年 月 日	

NO6からNO10は 別ファイルに綴じ込む

平成20年11月20日 制定

平成 年 月 日

西武造園株式会社

作業所長 殿

所在地

会社名

代表者名

印

安全衛生管理実行誓約書

対象工事名 :

対象期間 : 平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

貴社発注に係る工事施工にあたっては、労働基準法、労働安全衛生法、建設雇用改善法
その他関係法令に定めるすべての責任と義務を果たすとともに、別に定める誓約事項を確
ることを誓約します。

平成20年11月20日 制定

誓 約 事 項

(統括管理に対する協力)

1. 貴社の定める安全衛生管理に関する規程を誠実に守り、指示、命令には必ず従います。
2. 安全朝礼、安全工程打合せ、安全衛生会議、安全大会、教育訓練、一斉清掃、その他の行事には必ず参加します。
3. 作業安全指示書により指示された事項は、作業開始前に、安全ミーティングを通じて関係作業員に周知徹底させ、その結果は、速やかに報告します。
4. 担当する作業箇所の整理整頓、後片付けを確実に実施し、常に作業環境を整備します。

(届出書類)

5. 工事着工前に、「建設業法・建設雇用改善法等に基づく届出書」、「作業員名簿」および作業所で必要とする書類を提出します。また、提出後記載内容に訂正、変更または追加すべき事項が生じた場合は、その都度書面により届け度です。

(自主的災害防止)

6. 安全衛生責任者、作業主任者、作業指揮者を選任または指名して現場に常駐させ、災害防止に必要な権限を与え、自主的に災害防止活動を推進します。

(持込機械等使用届)

7. 当社が現場に持込み、使用する機械等については、事前に「持込機械等使用届」を提出し、承認を受けた後使用します。

(免許、資格等)

8. 免許、資格を必要とする作業には、当該免許・資格を有する者を、特別教育を必要とする作業には、特別教育修了者を必ず就労させます。
9. 雇い入れ時、新規入場時、作業内容変更時における教育、特別教育および職長教育その他安全衛生に関する教育・訓練については、当社で自主的に実施するとともに、再下請業者が行うこれらの教育については、当社が責任をもって指導援助を行います。

(健康診断・適正配置)

10. 雇い入れ時、定期および特殊の健康診断は確実に実施し、常に作業員の健康管理には万全を期すとともに、就労にあたっては、技能、年齢、健康状態等を考慮して、適正に配置します。また、貴社より作業員の健康診断書の提出を求められた場合には、速やかに提出致します。

平成20年11月20日 制定

(雇用管理)

11. 雇用管理責任者を選任して、雇用管理を適正に行い、賃金の不払い等は絶対致しません。また、万一当社の再下請業者において、賃金不払いが生じた時は、遅滞なく貴社に報告するとともに、当社の責任において解決し、貴社にご迷惑をおかけ致しません。
12. 雇用契約書または雇い入れ通知書、労働者名簿、賃金台帳その他関係法令で定める書類は、当社に常備し、貴社より提出を求められた場合には、速やかに提出致します。

(作業員宿舎)

13. 貴社の作業員宿舎に作業員を入居させる場合には、予め貴社と作業員宿舎使用貸借契約を締結したうえで入居させます。

(再下請負業者)

14. 請負工事の一部を再下請負させる場合には、当社が、貴社に誓約した一切の事項を当社の責任において、当該再下請業者にも遵守させます。
15. 一人親方、中小事業主等労働保険法の適用を受けられない者に対しては、予め同法による特別加入をさせて就労させます。
16. 再下請負業者が、貴社より不相当との指示を受けた場合は、直ちに当該下請負業者の使用を停止致します。

(事故の責任)

17. 当社はもちろん、当社の再下請負業者の故意または過失等により災害事故が発生した場合においても、当社において一切の責任を負い、貴社にはご迷惑をおかけ致しません。

(安全衛生管理実行誓約書控の保管)

18. 当誓約書の控えは、必ず当社において保管致します。

平成20年11月20日 制定

付 録

1. 安全衛生遵守事項
2. 作業員の一般心得
3. 作業主任者の一般職務

平成20年11月20日 制定

安全衛生遵守事項

当社と下請負契約を結んだ協力業者（第二次以下の下請負会社も含む）およびその従業員は、安全衛生に関して次の事項を遵守しなければならない。また、直営業者においても、当社の統括管理下にある場合はこれに準ずる。

1. 法令等の遵守

- (1) 労働安全衛生法（以下法という。）および関係諸法に定められた義務および当社の指示事項を遵守するとともに、安全で快適な職場づくりに協力し、作業員の安全と健康を確保するよう努めなければならない。
- (2) 当社より受注した工事の全部または一部を、第二次以下の下請負会社に発注するときは、当該業者に本遵守事項の徹底をはかると共に、連帯して安全衛生管理の責任を負わなければならない。
- (3) 作業員の「一般心得」を別紙の通り定める。

2. 安全管理一般

- (1) 当社の災害防止についての必要な措置には協力しなければならない。
- (2) 安全衛生責任者を選任し、作業所安全衛生管理者と協力し、またその指示に従い、作業所の災害防止に努めなければならない。
- (3) 作業員に対し常に安全作業を行うよう指示監督しなければならない。

3. 安全衛生責任体制

- (1) 現場代理人
現場代理人を選任し作業所長に報告しなければならない。
- (2) 安全衛生管理者
作業所の安全衛生責任者を選任し作業所安全衛生管理者に報告しなければならない。
- (3) 安全管理者、衛生管理者
協力業者は、1 作業所の労働者が常時 50 人をこえる場合には、法の定めるところにより安全管理者ならびに衛生管理者を選任し、遅滞なく所轄労働基準監督署に報告すると共に、作業所安全衛生管理者に届出書の写しを提出しなければならない。
- (4) 作業主任者
 - ① 作業員をは労働安全衛生法第 14 条に定める業務（別紙）に就業させる場合は、作業主任者技能講習を終了した者のうちから作業主任者を選任し、作業所安全衛生管理者に報告しなければならない。
 - ② 作業主任者の「一般職務」を別紙の通り定める。
- (5) 作業所安全衛生協議会
 - ① 安全衛生責任者を作業所安全衛生協議会に必ず出席させなければならない。
 - ② 止むを得ない場合は作業所安全衛生管理者の許可を得て代理人を出席させることができる。

平成20年11月20日 制定

(6) KYミーティング

安全衛生責任者、作業主任者または作業指揮者それぞれに作業開始前もしくは適時に「KYミーティング」を開催させ、安全な作業方法および手順を指差称呼等により、作業員に具体的に周知徹底させなければならない。

4. 教育訓練

(1) 安全衛生教育

労働者を雇い入れた時および労働者の作業内容を変更した時には、労働安全衛生法第59条第1項および第2項にもとづき所定の安全衛生教育を実施のうえ就業させなければならない。

(2) 特別教育

労働安全衛生法第59条第3項に定める危険または有害な業務（別紙）については、その業務についての安全または衛生のための特別な教育を終了した労働者を就業させなければならない。

(3) 職長教育

労働安全衛生法第60条に定める職長教育を職長にうけさせなければならない。

5. 就業制限

(1) 労働安全衛生法第61条第1項および第2項に定める業務（別紙）については適格者を指名し、免許証又は、修了証を提示して作業所安全衛生管理者の承認を受けなければならない。

(2) 前項で承認を受けた者は、当該業務に従事中は、労働安全衛生法第61条第3項の定めにより免許証又は修了証を携帯していなければならない。

(3) 高年齢者、身体障害者等特に配慮を必要とする者の就業にあたっては、これらの者の心身の条件に応じた適正な配置に努めなければならない。

6. 健康管理

常時使用する作業員に対し、労働安全衛生規則第43条および第44条にもとづき雇入時および定期的に健康診断を実施し、常に作業員の健康状態を具体的に把握し、常時適正配置に心掛けなければならない。

7. 雇用管理

(1) 作業所に就労させる作業員の雇用に関する事項を処理するために雇用管理責任者を選任し、「安全衛生管理に関する誓約書」に「作業員名簿」を添えて、工事着手五日前までに作業所安全衛生管理者に提出しなければならない。

(2) 当社より受注した工事の全部または一部を二次以下の下請負業者に発注するときは、それぞれの下請負業者に、「下請負状況報告書」および「作業員名簿」を作成させ、自社の提出書類と一括して作業所安全衛生管理者に提出しなければならない。

平成20年11月20日 制定

- (3) 健康、技能、経験、安全衛生意識等を考慮して作業員を配置し、就業することが著しく不相当と認められる者は交替させなければならない。
- (4) 作業員名簿を当 所に備え付け、就労者を常時適正に管理しなければならない。
- (5) 年少者を使用する場合、年令を証明する戸籍証明書等を備え付けると同時に、「年少者就労届」を作業所安全衛生管理者に提出しなければならない。

8. 安全作業基準

(1) 防護具、工具

- ① 作業員の使用する防護具、工具等を常に点検整備しなければならない。
- ② 作業員に対し保護帽、安全带等法令に定められた防護具を必ず着用させ、その正しい使用方法を作業員に徹底させなければならない。

(2) 足場受台、脚立、足場板

足場受台、脚立又は足場板について常に作業員に教育をおこない、適正に使用させなければならない。

(3) 荷上げ、荷下ろし作業

荷上げ、荷下ろし作業を行う場合、運転、信号、合図、玉掛け等については正しい使用方法で行わせなければならない。

(4) 玉掛け作業

- ① クレーン等で吊り上げ荷重1トン以上の玉掛け作業については、技能講習修了者でなければ就かせてはならない。
- ② クレーン等で吊り上げ荷重1トン未満の玉掛け作業については、特別教育修了者でなければ就かせてはならない。

(5) 火薬の使用

火薬を取り扱う場合には、作業所安全衛生管理者の指示に従い、その保管に細心の注意を払い、保管設備の維持に努めるとともに、使用にあたってはその使用量の適正管理に努めなければならない。

(6) 持込機械

機械器具（電動機械工具も含む）を持ち込むときは、「持込機械使用届」により作業所安全衛生管理者に届け出、当該機械には所定の持込許可証を掲出しなければならない。

(7) 防護設備の除去と復旧

- ① 作業員に、危険箇所（開口部、足場、栈橋、踊場等）の囲い、手摺または覆いならびに壁つなぎその他の防護設備を、無断で取りはずしさせてはならない。
- ② やむを得ず取り外す場合は、作業所安全衛生管理者の許可を得て外し、用済後は直ちに復旧するとともに、その旨を報告しなければならない。

平成20年11月20日 制定

9. 作業環境

(1) 整理・整頓・清掃

常に自己の作業場所の安全衛生を確保するため、毎日の作業終了後は、不
用材、発生材、残材および機械、工具、備品等を、作業所安全衛生管理者の
指定する場所に集積または格納して整理・整頓に努めなければならない。

(2) 作業所、宿舍等の環境整備

使用する作業所、便所等について、常に環境衛生の整備に努め、作業員宿
舎を設けるときは、管理責任者を定めて、「建設業付属寄宿舍規則」にもと
づく環境衛生整備を常に行い、十分な管理にあたらせなければならない。

10. 火災、交通災害防止

(1) 火災の防止

焚火、溶接その他火気を使用する場合は、あらかじめ火気使用責任者を
定め、「火気使用届」を作業所安全衛生管理者に提出し許可を得たうえ、
消火器、防火用水等を設置し、十分な防火管理を行ってから使用しなけれ
ばならない。

(2) 交通災害の防止

現場内および通勤時の交通災害防止について特に留意し、作業員等に対
し適切な教育をしなければならない。

11. 災害発生時の処置

現場内で事故または災害を発見しまたは予見したときは、担当業務の如
何を問わず、ただちに臨機の処理を取るとともに、作業所安全衛生管理者
に急報しなければならない。

12. その他

(1) 朝礼への参加

作業所で開催する朝礼には当日就業する作業員全員を必ず参加させなけ
ればならない。

(2) 規律の維持

事業主、近隣家屋、軌道、公共施設、通行人および現場内の他業者に迷
惑を及ぼさないよう、作業員の作業規律の維持に留意し、監督の責任を負
わなければならない。

(3) 労働者災害補償保険への特別加入

1人親方等労働者災害補償保険法の適用外の者に工事の全部または一部
を発注するときは、同法第28条および第29条に定める労働者災害補償
保険への特別加入をさせなければならない。

作業員の一般心得

1. 規律の遵守

- (1) 職場の秩序を保ち、互いに協力しあって業務を遂行すること。
- (2) 酒気を帯びて就業しないこと。

2. 作業の仕方

- (1) 正しい技能を身につけ、手順を省かないで安全な作業方法を守ること。
- (2) 定められた合図、誘導、指示を守ること。
- (3) 無理、無駄等の排除に心掛けること。

3. 服装、保護具

作業に適した安全な服装を整え、必要な保護具を正しく使用すること。
(半裸体作業の禁止、清潔な服装の保持、はきもの、安全帽、保護メガネ、安全帯等の正しい使用)

4. 立入禁止及び危険区域

- (1) 立入禁止等の標識の出ている所へは絶対に入らないこと。
- (2) 危険な区域(クレーンの作業半径内、建設機械の周囲、高所作業床、落下物危険箇所等)にみだりに立ち入らないこと。

5. 通路、昇降設備

定められた通路および昇降設備を使用すること。

6. 建設機械等

- (1) 建設機械、電動機またはスイッチ等危険なものにはみだりに触れないこと。
- (2) 動力による機械の運転、点検、修繕等は指名者以外は行わないこと。
- (3) 正しい教育訓練を受けてから機械を取り扱うこと。
- (4) 作業中断時および終了時は災害防止の措置をとること。

7. 施設

- (1) 作業にかかる前に作業施設を点検すること。
- (2) 作業施設等に不安全な箇所があるときは、そのままにせず、直して使用するか是正を申し出ること。
- (3) わからないことは作業所安全衛生管理者又は係員に尋ねて行うこと。

8. 物の投下、落下

- (1) 安全な投下設備があるかまたは監視人つきでなければ、高所から物を投下しないこと。
- (2) 工具、資材等の落下、風散についても十分注意すること。

平成20年11月20日 制定

9. 火気使用

- (1) 許可なく指定した以外の場所で喫煙または焚火をしたり、その他の火気を使用しないこと。
- (2) 作業中のくわえ煙草はしないこと。
- (3) 許可を受けて火気を使用した者は確実に残り火を始末し、その旨を係員に連絡すること。
- (4) 可燃物に近接して溶接するときまたは火気を使用するときは、耐火材で遮断し、かつ適当な消火設備をすること。

10. 整理整頓

作業中断時および毎日の作業終了時には整理整頓を必ず行うこと。

11. 健康管理

- (1) 定期的に健康診断を受け、常に健康には留意すること。
- (2) 暴飲暴食、睡眠不足等をさけ、常に疲労回復に努めること。
- (3) 身体に異常があるときは、作業所安全衛生管理者または係員に申し出ること。

作業主任者の一般職務

1. 当社係員から施工計画または設計図等の説明を受け、作業方法を事前に打合せ、作業に対する安全指導の指示を受ける。
2. 作業方法、時期、手順および作業員の配置を決定し、KYミーティング等を通じて作業員に周知徹底を計る。
3. 作業開始前に作業施設、使用機械、器具、工具および資材を点検するとともに、その使用方法および手入れについて、作業員に指導する。
4. 酸素欠乏危険作業等の特定作業については、当該作業人員および状況を把握するとともに作業所安全衛生管理者に報告する。
5. 当該作業については直接作業を指揮し、作業中の危険防止に対する指図、注意する。
6. 保安帽、安全帯その他の保護具の使用状況を監視し、資材等の上げ下ろしには、吊り網、吊り袋等使用させる。
7. 危険な作業を行う時は、当社係員との協議のうえ、安全通路の確保および必要な標示をし、関係者以外の立入を禁止する処置を講ずる。
8. 作業中崩壊、爆発等危険箇所を発見した場合は、速やかに作業員を避難させる等臨機の処置をとるとともに作業所安全衛生管理者に連絡する。
9. 悪天候等で危険が予想されるときは、その旨を作業所安全衛生管理者に申し出て作業を中止する。

安全衛生責任者選任報告

工事の種類	請負人名称	所在地	
工事			
役職名・氏名		生年月日	年 月 日(満 歳)
選任年月日	年 月 日	経験年数	年


年 月 日 1次会社名
(次)
会社名

□

統括安全衛生責任者殿

安全衛生責任者の資格・免許

過去に担当した 貴社の現場		
所有する 資格 と 終了した 教育等 ○で囲む	職長教育	年 月受講・未受講(支店) 年 月修了・未受講(年 月受講予定)
	主任技術者 資格者	1級造園施工管理技士 2級造園施工管理技士 1級土木施工管理技士
	作業主任者	a. コンクリート造解体 b. 地山掘削 c. 土止め支保工 d. 足場 e. 鉄骨建方 f. 型枠支保工 g. 酸素欠乏作業 h. ずい等の掘削・覆工 I. コンクリ・鋼橋架設等 j. その他
	免許	a. クレーン免許(5 t以上) b. 移動式クレーン免許(5 t以上)
	技能講習	a. 玉掛け(1 t以上) b. 小型移動式クレーン(1~5 t) c. ガス溶接 d. 高所作業車(作業床10m以上) e. 車両系(基礎工事3 t以上) f. 車両系(整地・運搬・掘削・積込3 t以上) g. 車両系(解体工事3 t以上) h. フォークリフト(1 t以上) I. その他()
	特別教育	a. アーク溶接 b. 研削といし c. ゴンドラ d. 高所作業車(作業床10m未満) e. クレーン(1~5 t) f. 建設用リフト g. コンクリートポンプ車 h. 巻き上げ機 I. 酸素欠乏作業 j. フォークリフト(1 t未満) k. 移動式クレーン(1 t未満) l. 車両系(3 t未満) m. ローラー n. ボーリングマシン o. 電気取り扱い p. その他()
<p>私はこのたび貴現場の安全衛生責任者として選任されました。この事実を確認するとともに、誠実に職務を遂行することをここに誓約いたします。 なお、上記の資格等につきましては間違いありません。</p> <p>本人の署名 (印)</p>		

元請 確認欄	
-----------	---

平成20年11月20日 制定

平成 年 月 日

対象工事名：

作業所長 殿

所在地

会社名

代表者名

印

雇入通知書・労働契約書等備付誓約書

今般、貴社より受注いたしました工事の施工にあたり、当該現場に従事する作業員については、雇入通知書・労働契約書等必要書類を完備し、当社に備え付けいたしておりますことを誓約いたします。

また、作業員について、雇入時および定期的に健康診断を実施し、記録を備えることを誓います。なお、貴作業所で必要と認められる者については、申し出により健康診断書の提出をいたします。

元請
確認欄



平成20年11月20日 制定

平成 年 月 日

対象工事名：

作業所長 殿

所在地
会社名
代表者名

印

不法就労外国人等を雇用しない誓約書

今般、貴社より受注いたしました工事の施工にあたり、当社の作業員には「出入国管理及び難民認定法（入管法）」に違反して、不法に就労する外国人を雇用していないことを誓約いたします。

元請
確認欄



平成20年11月20日 制定

平成 年 月 日

対象工事名：

作業所長 殿

所在地

会社名

代表者名

印

安全帯使用の誓約書

今般、貴社より受注いたしました工事の施工にあたり、墜落災害防止を計るため、作業員の高所作業における安全帯の使用については、安全基準に基づき、墜落災害防止に万全を期すことを誓約いたします。

元請
確認欄



元請 確認欄	<input type="checkbox"/>
-----------	--------------------------

作業員名簿

(20 年 10 月 30 日 作成)

事業所の名称 石川町公園作業所

所 長 名 金子 勤 殿

一 次 会 社 名 阿部土木株式会社 印 (次) 会 社 名 _____ 印

新規入場(自己)申告

フリガナ 氏 名	職 種 ※	雇 入 年 月 日 経 験 年 数	生 年 月 日 年 齢	現 住 所 家 族 連 絡 先	(TEL) (TEL)	最 近 の 健 康 診 断 日 血 圧	血 液 型	特 殊 健 康 診 断 日 種 類	教 育 ・ 資 格 ・ 免 許			入 場 年 月 日 受 入 教 育 実 施 年 月 日
									雇 入 ・ 職 長 特 別 教 育	技 能 講 習	免 許	
フセ アキラ 布施 明	土工	H 1年 4月 1日 20 年	S29年 5月20日 54 歳	東京都立川市立川1-1-3 (TEL) 042-516-2335	(TEL)	H 20年 9月 5日 70~120		年 月 日				H20年11月30日
-----		年 月 日 年	年 月 日 歳	(TEL) (TEL)	(TEL)	年 月 日 ~		年 月 日				年 月 日
-----		年 月 日 年	年 月 日 歳	(TEL) (TEL)	(TEL)	年 月 日 ~		年 月 日				年 月 日
-----		年 月 日 年	年 月 日 歳	(TEL) (TEL)	(TEL)	年 月 日 ~		年 月 日				年 月 日
-----		年 月 日 年	年 月 日 歳	(TEL) (TEL)	(TEL)	年 月 日 ~		年 月 日				年 月 日
-----		年 月 日 年	年 月 日 歳	(TEL) (TEL)	(TEL)	年 月 日 ~		年 月 日				年 月 日
-----		年 月 日 年	年 月 日 歳	(TEL) (TEL)	(TEL)	年 月 日 ~		年 月 日				年 月 日
-----		年 月 日 年	年 月 日 歳	(TEL) (TEL)	(TEL)	年 月 日 ~		年 月 日				年 月 日
ヤマサキ タロウ 1 山崎 太郎	造園工	安 S39年 5月10日 30年	S17年 5月25日 52歳	浦安市今堀2000 福岡県福岡市早良区大池992	(TEL)0473-54-3555 (TEL)092-801-2345	S 6年 1月18日 120 ~ 80	A	年 月 日	雇 入 時 教 育 職 長 教 育	玉 掛	一級造園施工管理 一級造園技能	H 6年 7月 5日 H 2年10月15日

作業員名簿提出時に写しを添付 若しくは新規入場時提出する

(注) 1. ※印欄には次の記号を入れる。
 現… 現場代理人 主… 作業主任者 (正副2名選任すること) 女… 女子作業員
 技… 主任技術者 職… 職長 安… 安全衛生責任者 未… 18歳未満の男子作業員

2. 経験年数は現在担当している仕事の経験年数を記入する。
 3. 各社別に作成するのが原則ですが、リース機械等の運転者は一緒でもよい。
 4. 資格・免許等の写しを添付すること。

※下記に記載された個人情報は、作業員の適正配置・安全衛生管理・災害発生時の連絡及び取得資格確認に使用し、他の目的には使用しません。

<div style="border: 2px solid red; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">自筆にて記入</div> <h1 style="margin: 0;">自己申告書</h1>		確認印
		<div style="border: 2px solid red; border-radius: 50%; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div>
(ふりがな) あなたの氏名	<div style="border: 2px solid red; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">作業員名簿と照合・確認</div>	大正 昭和 年 月 日 生 平成 (才)
あなたの 現住所	TEL () () ()	家族構成 妻・夫・子供 人・父・母
あなたの 家族の住所	TEL () () ()	家族以外の緊急連絡先 TEL()()()
健康 状態	あなたの血液型は	A・B・AB・O型 (Rh + ・ -) わからない
	最近健康診断を受けましたか。	受けた(年 月 ごろ) 受けていない
	あなたの血圧を知っていますか。	知っている (高い 普通 低い) 知らない
	病気やケガで具合の悪いところがありますか。	高血圧 肝臓 腰痛 ない ある ない 低血圧 心臓 その他()
	現在治療を受けていますか。	いる (病名) いない
雇 用 関 係	あなたは中小事業主もしくはその家族、または一人親方ですか。 「はい」の方、労働保険の「特別加入制度」に加入していること。	はい 確認し写しを はい 手続中
	あなたの雇用主は。 (あなたへ賃金を支払う人)	会社名 責任者名
	あなたと会社と雇用関係を証明するものがあるか (雇用)契約書、雇入通知書、健康保険証、等)	ある 確認し写しを ない
	あなたが雇われた日はいつですか。	年 月 日
	あなたの仕事(職種)はなんですか。	(仕事の経験は 年)
	雇入れ時に安全衛生教育を受けましたか。	受けた 受けていない
	あなたは建設業退職金共済手帳を持っていますか。	持っている 持っていない
資 格	あなたの持っている 免許証	1.造園施工管理技士(1級・2級) 2.土木施工管理技士(1級・2級) 3.造園技能士(1級・2級) 4.移動式クレーン運転士(5t以上) 5.その他()
	あなたの持っている 技能講習修了証	1.地山の掘削 2.土止め支保工 3.足場組立 4.型枠支保工 5.移動式クレーン運転(1t以上) 6.玉掛作業 7.ガス溶接作業 8.その他()
	あなたの受けた 特別教育	1.粉じん作業 2.酸欠作業 3.移動式クレーン運転(1t未満) 4.玉掛作業 5.アーク溶接作業 6.建設用リフトの運転 7.その他()

私は、別添教育資料に基づき、新規入場者教育を受けましたので、本申告書を提出の上、安全作業に努めます。なお、記載された個人情報の業務上の利用にはなんら異存はありません。

新規入場日を作業員名簿に記入のこと

平成 20 年 4 月 1 日

氏名 _____ 印 _____

工事名		安全衛生作業打合簿・作業指示書						統責者 (工事責任者)	元方安全 衛生管理者	記録者				
打合日	〇〇年 〇月 〇〇日 ()	天候予報 (晴れ)								○				
作業日	〇〇年 〇月 〇〇日 ()	天候 ()												
協力会社名	作業内容	品質関連指示事項	作業場所	使用機械 能力	必要資格 番号	人員 予 実	連絡調整・指導・指示事項 (危険有害要因除去・低減策)	職長サイン	備考					
△△造園	高木植栽(H=3.00) 10本	樹木の表裏に注意して立ちを意識して植栽する。	中央園路	0.2BH	②	3	植穴掘削時に重機と作業員との接触を防ぐため 合図の確認を徹底する	直筆サイン						
××土木	U300U字溝敷設工事	目地の収まりに注意する 端部にL=300以下の半端物が入らないよう注意する。	外周部	0.2BH 4tユニック	② ① ③	3	U型側溝のつり込み時には、専用の吊り具を使用し 手つめ、足つめに注意する。 有資格者によるクレーン作業を徹底し、アウトリガーの 張り出し確認及び据え付け地盤の確認を行う。	直筆サイン						
配置図・全体略図(別紙 有・無)		品質関連予定 (検査 立会 その他)	安全巡視記録(良好:○ 不良:× 該当無し:/)											
<div style="border: 1px dashed gray; padding: 5px;"> 現場概略図を添付 </div>		9:00より受入立会	巡視項目			指摘事項及び是正処置			巡視項目			指摘事項及び是正処置		
			1. 新規入場者教育実施者(2)名	○				12. 持込機械受理票	○					
			2. 保護帽・保護具の着用	○				13. 作業半径内立入禁止措置	○					
			3. KY活動の実施状況	○				14. 作業主任者の選定	○					
			4. 作業内容の周知徹底	○				15. 有資格者の配置	○					
			5. 作業ヤードの明示	○				16. 作業通路の確保	○					
			6. 立入禁止措置	○				17. 現場内の整理整頓	×	園路内に残材があり速やかに片付けること				
			7. 墜落防止措置	○				18. 資材置場・詰所の整理整頓	○					
			8. 開口部等の危険箇所の処置	○				19. 指定場所での喫煙	○					
			9. 掘削時安全勾配の確保	○				20. 車両の安全管理の徹底	○					
			10. 使用機械の始業前点検	○										
11. 持込機械の定期点検	○													
材料搬入・搬出予定				資材搬出入荷伴う特記事項										
品名		時間	数量	摘要										
ヤマザクラH=3.00		8:30	10本	4tユニック										

※必要資格の種類を記入すること。①…クレーン等運転 ②…車両系建設機械運転 ③…玉掛作業 ④…ガス溶接作業 ⑤…高所作業車運転 ⑥…地山掘削 ⑦…土止め支保工 ⑧…型枠支保工 ⑨…足場組立 ⑩…鉄骨組立 ⑪…その他の資格(資格名記入)

安全ミーティング・危険予知活動 報告書

協力会社 (グループ名)	〇〇造園	安全衛生責任者 (職長名)	〇〇 〇〇	合計	4人	統括安全衛生責任者		担当者	
-----------------	------	------------------	-------	----	----	-----------	--	-----	--

本日の作業内容・作業手順

高木植栽工

どんな危険があるか？ (危険性又は有害性の特定)	重大度	可能性	評価	危険度	私たちはこうする (リスクの低減措置の実施)	重大度	可能性	評価	危険度
① 重機と作業員との接触	×	△	×△	4	① 作業前に重機OPとの合図の確認を行い旋回範囲内には入らないようにする。 作業範囲の区画を行い他の作業員の進入が無いようにする。	△	○	△○	2
② 掘削箇所への作業員の転落	△	△	△△	3	② 開口部に養生又は開口部の明示を行う。	○	○	○○	1
③ 高木搬入時の吊り荷の落下	×	△	×△	4	③ 有資格者による玉掛け、クレーン作業を徹底する。 アウトリガーの全張り出しを徹底し、定格荷重を守り、転倒を防止する。	△	○	△○	2

本日の指差呼称

ヨシ!

「重篤度」の見積基準

災害受傷程度の重大性	重篤度の見積基準	記号
極めて重大	死亡と傷害を伴う災害	×
重大	休業災害	△
軽微	不休災害	○

「可能性」の見積基準

災害発生の可能性(度合)	可能性の度合の見積基準	記号
かなり起こる	半年に1回程度発生する	×
たまに起こる	1年に1回程度発生する	△
ほとんど起こらない	5年に1回程度発生する	○

「危険性」の評価

重大度	× 極めて重大 (死亡・傷害)	△ 重大 (休業災害)	○ 軽微 (不休災害)
可能性の度合い			
× かなり起こる (半年に1回程度)	× × 極めて大きい	× △ かなり大きい	× ○ 中程度
△ たまに起こる (1年に1回程度)	△ × かなり大きい	△ △ 中程度	△ ○ かなり小さい
ほとんど起こらない (5年に1回程度)	○ × 中程度	○ △ かなり小さい	○ ○ 極めて小さい

リスクの評価と危険度のランクと低減措置検討基準

リスクの評価	見積評価基準	危険度のランク	低減措置検討基準
××	極めて大きい	5	即座に対策が必要
×△ △×	かなり大きい	4	抜本的な対策が必要
×○ △△ ○×	中程度	3	何らかの対策が必要
△○ ○△	かなり小さい	2	現時点では必要なし
○○	極めて小さい	1	対策の必要なし

ミー テ ィ ン グ 参 加 者	〇〇 〇〇	②							
	×× ××	①③							
	□□ □□								
	△△ △△								

※氏名の横に資格の種類を記入すること

- ①・・・クレーン等運転 ②・・・車両系建設機械運転 ③・・・玉掛け作業 ④・・・ガス溶接作業 ⑤・・・高所作業車運転 ⑥・・・地山掘削 ⑦・・・土止め支保工 ⑧・・・型枠支保工 ⑨・・・足場組立 ⑩・・・鉄骨組立 ⑪・・・その他の資格(資格名記入)

持込機械等 [移動式クレーン
車両系建設機械 等] 使用届

事業所の名称 _____ 一次会社名 _____

所 長 名 _____ 殿 持込会社名 _____

(次)
代 表 者 名 _____ 印

TEL _____

このたび、下記機械等を裏面の点検表により、点検整備の上持込・使用しますので、お届けします。
なお、使用に際しては関係法令に定められた事項を遵守します。

使 用 会 社 名				代 表 者 名			
				印			
		名 称	メーカ-	規 格 ・ 性 能		製 造 年	管理番号 (整理番号)
持込年月日		年 月 日	使用場所	自 社 ・ リ ー ス の 区 別			
搬出予定年月日		年 月 日		自 社 ・ リ ー ス			
運 転 者 (取扱者)		氏 名		資 格 の 種 類			
		(正)					
		(副)					
自 主 検 査	有 効 期 限	年次	年 月 日	移動式クレーン等の 性能検査有効期限	年 月 日	自 動 車 検 査 証 有 効 期 限	年 月 日
		月次	年 月 日				
		特 定	年 月 日				
任 意 保 険		加入額	対人	千円	搭 乗 者	千円	有 効 期 限
			対物	千円	そ の 他	千円	年 月 日
機械等の特性・その他その の 使用上 注意すべき事項							
元 請 確 認 欄				受 理 番 号		受 理 証 確 認 者	
○			担 当 者	○		年 月 日	

持込時の点検表

所有会社名				代表者名						
				印						
移動式クレーン等				車両系建設機械等						
点検事項		点検結果		点検事項		点検結果				
		(a)	(b)			(a)	(b)			
A クレーン部 (上部旋回体)	安全装置	巻過防止装置			D 安全装置	旋回				
		過負荷防止装置				バケツト				
		フックのはずれ止め				ブーム・アーム				
		起伏制御装置								
		旋回警報装置								
	制御装置・作業装置	主巻・補巻				警報装置				
		起伏・旋回				アウトリガ				
		クラッチ				ヘッドガード				
		ブレーキ・ロック				照明				
		ジフ				操作装置				
	その他	滑車				バケツト・ブレード				
		フック・バケツト				ブーム・アーム				
		ワイヤーロープ・チェーン				ジフ				
		玉掛用具				リダ				
		操作装置				ハンマ・オーガ・ハイフロ				
B 車両部 (下部走行体)	走行部	ブレーキ			E 作業装置	油圧駆動装置				
		クラッチ				ワイヤーロープ・チェーン				
		ハンドル				つり具等				
		タイヤ				滑車				
		クローラ				ブレーキ				
	安全装置等	警報装置				F 走行部	駐車ブレーキ			
		各種ミラー					ブレーキロック			
		方向指示器					クラッチ			
		前後照灯					操縦装置			
		左折プロテクター					タイヤ・鉄輪			
	C ゴンドラ	アウトリガ					G 電気装置	クローラ		
		昇降装置						配電盤		
		ベッセル						配線		
		後方監視装置						絶縁		
		突りょう						アース		
D その他	作業床			H その他						
	昇降装置									
	電気装置									
	ワイヤ・ライフライン									
(a)	点検日	年月日	点検者	印	(b)			点検日	年月日	点検者

- 機 械 名
- (1) クレーン
 - (2) 移動式クレーン
 - (3) デリック
 - (4) エレベーター
 - (5) 建設用リフト
 - (6) 高所作業者
 - (7) ゴンドラ
 - (8) ブル・ドーザー
 - (9) モーター・グレーダー
 - (10) トラクターショベル
 - (11) ざり積機
 - (12) スクレーパー
 - (13) スクレープ・ドーザー
 - (14) パワー・ショベル
 - (15) ドラグ・ショベル
(油圧ショベル)
 - (16) ドラグライン
 - (17) クラムシェル
 - (18) バケツト掘削機
 - (19) トレンチャー
 - (20) コンクリート圧砕機
 - (21) くい打機
 - (22) くい抜機
 - (23) アース・ドリル
 - (24) リハース・サキューション・ドリル
 - (25) せん孔機
 - (26) アース・オーガ
 - (27) ペーパー・ドレーン・マシン
 - (28) 地下連続壁施工機械
 - (29) ローラー
 - (30) クローラドリル
 - (31) ドリルジャンボ
 - (32) ロードヘッダー
 - (33) アスファルトフィニッシャー
 - (34) スタビライザ
 - (35) ロードプレーナー
 - (36) ロードカッター
 - (37) コンクリート吹付機
 - (38) ボーリングマシン
 - (39) 重ダンブトラック
 - (40) ダンブトラック
 - (41) トラックミキサー
 - (42) 散水車
 - (43) 不整地運搬車
 - (44) コンクリートポンプ車
 - (45) その他

(注)

1. 持込機械等の届け出は、当該機械を持ち込む会社（貸与を受けた会社が下請の場合はその会社）の代表者が所長に届け出ること。
2. 点検表の点検結果欄には、該当する箇所へ印を記入すること。
3. 自社の点検表にて点検したものは、その点検表を貼付する（転記の必要はなし）。
4. 機械名(1)から(6)まではA、B欄を、(7)はC欄を、(8)から(38)まではD、E、F、G欄を、(39)から(43)まではB欄を、(44)はB、D、E欄を使用して点検すること。
5. 点検結果の(a)は、機械所有会社の確認欄とし、(b)は持込会社又は機械使用会社の確認欄とする。元請が確認するときは、(b)の欄を利用すること。

小型移動式クレーン及びクレーン作業打合表

作業日	平成 ○○年 ○月 ○日 ()	
作業内容	遊具設置工事における部材組み立て作業	
作業場所及び運行経路	別紙作業帯図による	
使用機種	コベルコ RK120-3 (フック重量 0.2 t)	
吊荷の形状と重量	形状 H鋼 L=4000	・重量 1.6t
作業半径・定格荷重	作業半径 10m	・定格荷重 1.95t
余 裕	定格荷重 - (吊荷重量 + フック重量) = 0.15t	
作業所周辺の状況	道路まで(5.5)m	近接構造物まで()m
	周辺民家まで(40)m	その他構造物まで()m
	ジブの使用(有) (無)	
接地面の強度と養生	旋回方向 (右旋回 ・ 左旋回 ・ 両旋回)	
	地盤 (地山 ・ 舗装 ・ 構台 ・ その他) アウトリガー(全張出し ・ 中間張出し) ・ 拡幅式クローラークレーン(全拡張) 養生 (敷板 ・ 敷鉄板 ・ 反力板 ・ その他)	
機械の所属会社	自 ・ リース 会社名	
使用会社	会社名 ○○造園	運転者名 ○○ ○○
指揮系統	工事担当職員	業者作業指揮者
		見張員
		合図者 玉掛者
立入禁止の措置	カラーコーン ・ トラロープ ・ A型バリケード ・ その他	
架空線・埋設の確認	(無) ・ 有 (電気 ・ ガス ・ 水道 ・ 下水 ・ その他)	
信号合図	手合図 ・ 無線 ・ 笛 ・ メガホン	
玉掛方法	あだ巻き ・ 目通し吊り ・ はかま ・ あやがけ ・ モッコ	
玉掛用具	ワイヤー(分 本) ・ ナイロンスリング(100mm 2本) ・ チェーン(本)	
	シャックル ・ イーグル ・ フック ・ その他	

作業帯図及び略図(作業動線 ・ クレーン配置 ・ 合図者位置 ・ 仮囲い等)

作業帯の概略図を添付し作業動線、クレーン配置、合図者位置、作業区画を明記する

クレーン作業指示書	
○○○○ 殿	作業所 指示者(○○○○)
労働安全衛生規則第667条 第2項により下記事項を通知いたしますので遵守方お願いします。	
記	
作業内容・指揮系統・信号合図等は上記による	
その他、労働災害防止のため必要な事項	
<ol style="list-style-type: none"> 1 作業開始前の点検を実施すること。 2 クレーンフックの外れ止め装置を確認すること。 3 アウトリガー(全張出し)、クローラークレーンは拡張を確認し、しっかりと据え付けること。 ・全張り出し出来ない場合、職員の許可を得ること。 ・設置地盤の強度が不明の場合、職員に問い合わせること。 4 合図者の合図を確認してから操作すること。 ・カウンターウエイトの旋回範囲に人、物のないことを確認する。 ・吊上げ ・ 吊下げ中、吊荷の真下に人のいないことを確認する。 5 定格荷重を越える荷重をかけて使用しないこと。 6 ジブの傾斜角の範囲を越えて使用しないこと。 7 ジブ・吊荷が接触するおそれがあるときは、監視員の配置を申し出ること。 8 ジブを伸ばしたままで運転席を離れないこと。 	
クレーン運転者	受領サイン
	直筆サイン
	免許証番号

定格荷重表を添付し当該工事での作業可能範囲の確認を行うこと

アウトリガ張出し高 吊り高さ	アウトリガ最大張出し(4.7m/全開)					アウトリガ中間張出し(4.3m/傾斜)						
	5.3m	9.0m	12.7m	16.4m	20.1m	23.8m	3m	9.0m	12.7m	16.4m	20.1m	23.8m
1.0m	1200490	800490	600490	500490	4.70		1200490	800490	600490	500490	4.70	
1.5m	1200490	800490	600490	500490	4.70		1200490	800490	600490	500490	4.70	
2.0m	1200490	800490	600490	500490	4.70		1200490	800490	600490	500490	4.70	
2.5m	1000490	800490	600490	500490	4.70		1000490	800490	600490	500490	4.70	
3.0m	820490	600490	500490	4.70	3.20	700490	600490	500490	4.70	3.20		
3.5m	700490	600490	500490	4.70	3.20	610490	600490	500490	4.70	3.20		
4.0m	610490	600490	500490	4.70	3.20	536490	600490	500490	4.70	3.20		
4.5m		536490	530490	500490	4.50	3.20		536490	530490	500490	4.50	3.20
5.0m		4.70	4.65	4.60	4.05	3.20		4.70	4.65	4.60	4.05	3.20
5.5m		4.15	4.15	4.20	3.70	3.20		4.15	4.15	4.20	3.70	3.20
6.0m		3.75	3.70	3.60	3.40	3.00		3.75	3.70	3.60	3.40	3.00
7.0m		3.05	3.00	3.20	2.80	2.60		3.05	3.00	3.20	2.80	2.60
8.0m		2.70/2.7m	2.45	2.65	2.60	2.25		2.60/2.7m	2.40	2.65	2.60	2.25
9.0m			2.05	2.25	2.20	1.95			1.95	2.10	2.15	1.95
10.0m			1.70	1.90	1.85	1.75			1.75	1.70	1.75	1.75
11.0m			1.35	1.60	1.75	1.55			1.55	1.45	1.50	1.50
12.0m			1.25/1.4m	1.35	1.45	1.40			1.40/1.4m	1.15	1.20	1.30
13.0m				1.15	1.25	1.25				0.90	1.00	1.10
14.0m				0.98	1.05	1.15				0.75	0.85	0.95
15.0m					0.83	0.92	1.00			0.60	0.70	0.80
16.0m						0.79	0.86				0.60	0.70
17.0m							0.67	0.75				0.60
18.0m								0.58	0.65			0.50
19.0m						0.50/1.8m	0.55				0.35/1.8m	0.40
20.0m							0.48					0.35
22.0m								0.35				
22.3m								0.32				
最大ブーム長さ	0'	0'	0'	0'	0'	0'	0'	0'	0'	0'	0'	0'

※現場にて指示内容を変更した場合は、所長又は、工事主任の承認を受ける。

指示事項	印
	○

車両系建設機械作業打合表

作業日	平成〇〇年〇月〇〇日()				
交通規制方法	通行止め・片側交互通行・幅員減少・その他				
立入禁止処置	カラーコーン・トラロープ・A型バリケード・その他				
地形	平地・傾斜地()%・段差地・作業面(広い)・狭い				
地質	硬岩・軟岩・礫・砂礫・シルト・粘性土・泥炭・その他				
架空線・埋設の確認	(無)・有(電気・ガス・水道・下水・その他)				
上記の保護方法	試掘・立会・その他				
転倒危険箇所	(無)・有				
転倒防止措置					
作業方法			安全上の留意点		
公園内の暗渠排水工事					
丁張りからの下がり900mm(GL-700)にてバックホウにて掘削を行う。			重機と作業員との接触の防止のため合図の確認を徹底する。		
暗渠排水管敷設後、単粒碎石で埋め戻す。			単粒碎石の搬入用ダンプの掘削路への転落を防止するため誘導員を配置する。		
使用機械					
機械名及び使用目的	能力	台数	使用会社	運転者	必要資格
バックホウ	0.25級	1	〇〇造園	〇〇 〇〇	車両系
ダンプトラック	2t	1	〇〇造園	△△ △△	普通免許

作業帯図及び略図(作業動線・機械配置・合図者位置・仮囲い等)

作業帯の概略図を添付し作業動線、クレーン配置、合図者位置、作業区画を明記する

車両系建設機械作業指示書				
〇〇 〇〇 殿 作業所 指示者(□□ □□)				
下記事項を通知いたしますので遵守方お願いします。				
記				
作業内容・指揮系統・合図等は上記による				
その他、労働災害防止のため必要な事項				
<ol style="list-style-type: none"> 1 作業開始前の点検を実施すること。 2 作業中重機オペレーターと作業員との合図の確認を徹底し旋回範囲内は、立入禁止とする。 3 油圧式バックホウの用途外使用については、当社職員の許可を得ること。 4 油圧式バックホウの用途外使用を行う際には、次の規格を満たすこととする。 <ul style="list-style-type: none"> ・作業の性質上やむを得ないとき又は安全な作業の遂行上必要なとき ・その際の吊り荷重は最大 1t とし、平積バケット容量×1.8t未満とする。 5 移動式クレーン仕様バックホウで吊り荷作業を行う際には、別途小型移動式クレーン及びクレーン作業打ち合わせ表を併せて作成し打ち合わせを行うこと。 6 その他打ち合わせにない不測の事態が発生した場合は速やかに、職員に連絡すること。 				
機械運転者	受領サイン	直筆サイン	免許証番号	

作業	必要資格
油圧ショベル	車両系建設機械
	<ul style="list-style-type: none"> ・機体重量3t未満 : 特別教育 ・機体重量3t以上 : 技能講習
クレーン	移動式クレーン
	<ul style="list-style-type: none"> ・吊上荷重1t未満 : 特別教育 ・吊上荷重1t以上5t未満 : 技能講習
玉掛け	玉掛け
	<ul style="list-style-type: none"> ・吊上荷重1t未満 : 特別教育 ・吊上荷重1t以上 : 技能講習

※現場にて指示内容を変更した場合は、所長又は、工事主任の承認を受ける。

指示事項

印

持込機械等 [電動工具
電気溶接機] 等 使用届

事業所の名称 _____

一次会社名 _____

所 長 名 _____ 殿

持込会社名 _____

(次)
代 表 者 名 _____ 印

TEL _____

このたび、下記機械等を裏面の点検表により、点検整備の上持込・使用しますので、お届けします。
なお、使用に際しては関係法令に定められた事項を遵守します。

記

番号	機 械 名	規 格 性 能	管理番号 受理番号	持 込 年 月 日 搬出予定年月日	点検者	取扱者
1				年 月 日		
				年 月 日		
2				年 月 日		
				年 月 日		
3				年 月 日		
				年 月 日		
4				年 月 日		
				年 月 日		
5				年 月 日		
				年 月 日		
6				年 月 日		
				年 月 日		
7				年 月 日		
				年 月 日		
8				年 月 日		
				年 月 日		
9				年 月 日		
				年 月 日		
10				年 月 日		
				年 月 日		
機械の特性、その他その 使用上注意すべき事項						
元 請 確 認 欄			受 理 番 号	受 理 証 確 認 者		
○		担 当 者	○	年 月 日		

平成20年11月20日 制定

平成 年 月 日

対象工事名： _____

_____ 作業所長 殿

所在地
会社名
代表者名 _____ 印

年少者就労届

貴作業所の工事を施工するにあたり、下記の者は満18才未満ですが、年少者使用同意書、
年令証明書（住民票抄本可）を提出の上、就労させますのでお届けします。なお、危険また
は有害な業務には就労させません。（満16才未満の者には、親の承諾書を添付し、就労さ
せませす。）

記

氏名	生年月日	現住所	電話番号
	年 月 日 (才)		- -
	年 月 日 (才)		- -
	年 月 日 (才)		- -
	年 月 日 (才)		- -
	年 月 日 (才)		- -
	年 月 日 (才)		- -

元請
確認欄 

平成20年11月20日 制定

平成 年 月 日

作業所長 殿

所在地
会社名
代表者名 _____ 印

高 齢 者 就 労 届

下記の者は満60歳以上につき、健康診断書を提出の上、就労させますのでお届けします。

記

氏 名	生 年 月 日 (年 月 日) (才)	現 住 所	電 話 番 号
	(年 月 日) (才)		- -
	(年 月 日) (才)		- -
	(年 月 日) (才)		- -
	(年 月 日) (才)		- -
	(年 月 日) (才)		- -
	(年 月 日) (才)		- -

元 請
確認欄



元 請
確認欄

平成 年 月 日

工 事 用 車 両 届

事業所の名称 _____

一次会社名 _____

所 長 名 _____ 殿

使用会社名 _____

(次)
現場代理人
(現場責任者)

印

下記の通り車両を運行しますので、お届けいたします。

使用期間	年 月 日 ~ 年 月 日			
所有者氏名			安全運転管理者氏名	
車 両	型 式			車 両 番 号
	車 検 期 間	年 月 日 ~ 年 月 日		
運 転 者	氏 名			生 年 月 日
	住 所			
	免許の種類			免 許 番 号
自 賠 責	保険会社名			証 券 番 号
	保 検 期 間	年 月 日 ~ 年 月 日		
任 意 保 険	保険会社名			証 券 番 号
	対人	万円	対物	万円
	搭乗者	万円		
	保 検 期 間	年 月 日 ~ 年 月 日		
運 行 経 路	自 ~ 経由 ~ 経由 ~ 至			

- (注) 1. この届出書は車両1台ごとに提出すること。
 2. この届出書に「任意保険」の証書(写)を添付し提出すること。
 3. マイクロバス等についても記載すること。
 4. 運転者が変わった場合はその都度届出ること。

平成20年11月20日 制定

元 請 確認欄	
------------	---

平成 年 月 日

危 険 物 ・ 有 害 物 持 込 使 用 届

事業所の名称 _____ 一次会社名 _____

所 長 名 _____ 殿 使用会社名 _____

(次)
現場代理人
(現場責任者) _____ 印

このたび、下記の危険物・有害物を持込使用するのでお届けします。なお、使用に際しては、関係法規に定められた事項を遵守するとともに盗難防止に努めます。

使用材料	商 品 名	メーカー名	搬 入 量	種 類	含 有 成 分
工 事 名 及 び 使 用 場 所	(災害又は健康障害の発生しやすい場所は必ず記入する)				
保 管 場 所			使用機械 又は工具		
使 用 期 間	年 月 日 ~ 年 月 日 (予定)				
作 業 主 任 者	(屋内作業場、タンク等で許容消費量の有機溶剤を取り扱う作業又は特定化学物質等を取り扱う作業は技能講習修了者)				
危険物取扱責任者	(消防法で決められた量以上を貯蔵する場合は、危険物取扱の免許取得者)				
換気方法・種類	(主なものを記入する。詳細は別に計画書を作成する)				
備 考	(防毒マスクなどの使用又は他の職種に関係ある事項などを記入する)				

- (注) 1. 商品名、種別含有成分等は材料に添付されているラベル成分表等から写し、記入してください。
2. 危険物とは、ガソリン、軽油、灯油、プロパン、アセチレンガスなどをいう。
3. 有害物とは、塗装、防水などに使用する有機溶剤、特定化学物質などをいう。

元 請 確認欄	○
------------	---

平成 年 月 日

火 気 使 用 願

事業所の名称 _____ 一次会社名 _____

所 長 名 _____ 殿 使用会社名 _____

(次)
現場代理人
(現場責任者) _____ 印

下記の要領で火気を使用したく許可願います。なお、火気使用の終了時には、必ずその旨報告致します。

使 用 場 所			
使 用 目 的	溶接、溶断、圧接、防水、乾燥、採暖、沸騰、 炊事、その他 ()	使 用 期 間 使用時間(原則)	月 日 ~ 月 日 時 分 ~ 時 分
火 気 の 種 類	電気、ガス、灯油、重油、木炭、薪、その他 ()		
管 理 方 法	消火器、防火用水、消化砂、防災シート、受皿、標識、監視、 取扱上の注意 ()		
火 元 責 任 者 (後始末巡回者)			
火気使用責任者			

※ 使用目的、火気の種類、管理方法は該当事項を○で囲んで下さい。

許可 第 _____ 号	(許可年月日) _____ 年 _____ 月 _____ 日
火 気 使 用 許 可	防 火 管 理 者 _____ 印
	担 当 係 員 _____ 印
許 可 条 件	1. 花火及び切断屑は必ず受皿で受けること。 2. 作業場所には粉末消火器を配置すること。 3. 作業終了後は火がないことを確認すること。 4. 5.

※ 毎日時間で管理する場合は、この様式を参考にして書式を作成して下さい。

月度 安全衛生計画表															安全衛生重点目標												作業所										
工 事 件 名															※支店												安全衛生責任者名										
工期	自					引渡し日					※支店												安全衛生責任者名														
	至					作成日					※支店												安全衛生責任者名														
日付	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2
曜日																																					
支店主行事																																					
行事																																					
安全衛生協議会は月に1回以上開催する事																																					
旬間目標	上旬					中旬					下旬																										
重点目標にそつた項目を掲げる																																					
工種・内容数量は必ず記入の事																																					
安全衛生当番																																					
安全推進員																																					
工 程	作業実線																																				

工 程	作業実線																																				

工 程	作業実線																																				

当 社 作 成

元請 確認欄	○
-----------	---

平成 年 月 日

事業所安全衛生管理計画書

事業所の名称 _____ 一次会社名 _____

所 長 名 _____ 殿 使用会社名 _____

(次)
現場代理人
(現場責任者) _____ 印

工 事 名 称			
1 工 事 内 容	イ 工 種		
	ロ 工 事 内 容		
	ハ 工 期	年 月 日 ~	年 月 日
	ニ 主な持込機械・設備等		
2 安 全 衛 生 管 理 体 制	店社による安全パトロール実施予定		有(月 回) 予定なし
	≡	[安全衛生担当役員]	[工事担当役員]
	≡	[安全衛生担当責任者]	[工事担当責任者]
	≡	[安全衛生担当者]	[工事担当者]
	≡	[現場代理人]	[安全衛生責任者]
	≡	[次下請]	[次下請]
≡	作業員数 (名)	作業員数 (名)	作業員数 (名)

3 作業手順書	作業手順書の名称		提出(作成予定) 年月日
	作成済 (提出済)		年 月 日
			年 月 日
	作成予定		年 月 日
			年 月 日
			年 月 日

4 安全衛生教育の計画	No	教育内容	実施時期	備考

5 健康診断の計画	No	健康診断内容	実施時期	備考

6 重点的に実施しようとする活動	No	実施内容と活動予定	備考

事業主パトロール点検表

作業所

現場責任者 殿

下記の通り、当社パトロールを実施したので、報告致します。

点検日	年 月 日		工 種		
点検者	会 社 名		役 職	氏 名	
	()次				
()次					
安全自主パトロール点検結果	指摘事項(点検者記入)			処置内容(職長記入)	
	<p>「事業主パトロールチェックリスト」の「評価判定」が△または×の項目について指摘内容を文章で記入する。</p>			<p>指摘事項に対する処置内容を職長が記入する。</p>	
	元請(又は他業者)への意見・コメント			処置内容(現場責任者記入)	
	<p>安全に関して、事業主から元請または他業者に意見やコメントがある場合は記入する。</p>			<p>指摘事項に対する処置内容を元請けの現場責任者が記入する。</p>	
品質自主パトロール結果	指摘事項(点検者記入)			処置内容(職長記入)	
	<p>品質に関して、事業主が点検し、指摘がある場合は記入する。</p>			<p>指摘事項に対する処置内容を職長が記入する。</p>	
	元請(又は他業者)への意見・コメント			処置内容(現場責任者記入)	
	<p>品質に関して、事業主から元請または他業者に意見やコメントがある場合は記入する。</p>			<p>指摘事項に対する処置内容を元請けの現場責任者が記入する。</p>	
元請のコメント					

※ 毎月1回実施し、元請けの現場責任者に提出すること。

※ 保管は作業所にて行う。

現場責任者

/

事業主パトロールチェックリスト

本日の作業内容		本日の人員 人	
管理項目	点検項目	評	価
		判	定
安 全 衛 生	1. 安全提出書類綴りの確認	月1回、 各施工業者の事業主が、 安全衛生に関して 現場を巡視した結果を 「評価判定」欄に記入し、 各作業所に提出する。	
	①作業員名簿一覧表の記入に漏れがないか		
	②新規入場教育の実施状況の確認		
	③機械・器具持ち込み使用届けの確認		
	④安全衛生協議会事項周知報告書の確認		
	2. 有資格者は適正に配置されているか		
	3. 高所作業に65歳以上が就労していないか		
	4. 重要作業に手順書は作成されているか		
	5. 施工体制台帳の記入の漏れはないか		
	生 産 確 認		1. 作業床は確保されているか
2. 安全帯の取付け設備はあるか			
3. 開口部の覆い・端部手摺はあるか			
4. 脚立・道板等の強度はよいか			
5. 危険作業(火気・有機溶剤作業)の保管・使用環境はよいか			
行 動 事 項	1. KY活動記録内容はよいか		
	2. 安全帯を必要時に使用しているか		
	3. 不安定・無理な作業はないか(不安全行動)		
	4. 保護具の使用はよいか(メガネ・マスク)		
	5. 予定外作業はないか		
項 目 そ の 他	1.		
	2.		
	3.		
	4.		

評価・判定の記入例 ○:良い・実施済・作成済 △:作成中・計画中 ×:悪い・未実施・未作成 /:該当無し

※毎月1回実施し、元請けの現場責任者に提出すること。

※保管は作業所にて行う。

事業主パトロール確認欄

関 連 業 者 確 認						
年 月 日	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・
実 施 者						
年 月 日	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・
実 施 者						
年 月 日	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・
実 施 者						
年 月 日	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・
実 施 者						
年 月 日	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・
実 施 者						
年 月 日	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・
実 施 者						
年 月 日	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・	・ ・
実 施 者						

月1回、
 各施工業者の事業主が、
 安全衛生・品質に関して
 現場を巡視した際、
 巡視日と実施者名を記入し、
 各作業所に提出する。

※事業主パトロールチェックリスト・事業主パトロール点検表の提出と併せて記入すること。